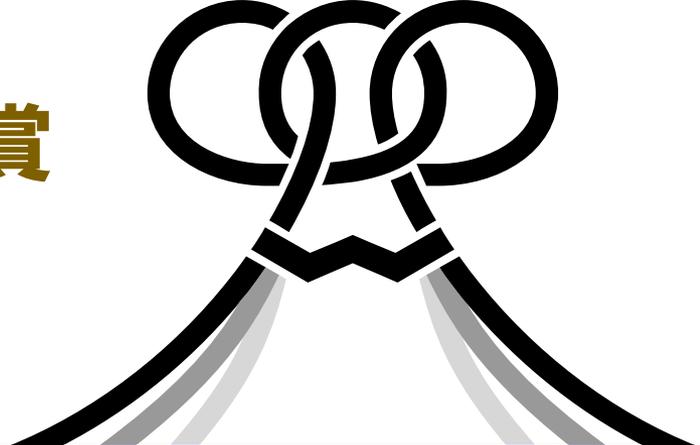


スポーツ文化ツーリズムアワード2021

【日本遺産ツーリズム賞】特別賞



(申請団体)

撮りフェスin室蘭実行委員会

撮りフェスin室蘭



取組概要

当イベントは、室蘭市内を24時間という制限時間の中で自由に散策しながら、室蘭が持つ「被写体」としての魅力写真を収めていく滞在型のフォトコンテスト。

幻想的な“工場夜景”をはじめとする人工的な景観と、北の大自然が作り出す壮大な“自然景観”が奇跡的に共存する市を「日本一のフォトジェニックシティ」として打ち出し、知名度向上や交流人口の増加による地域活性化、郷土の豊かな自然や個性ある文化を活かした魅力あるまちづくりの推進に資することを目的として開催している。

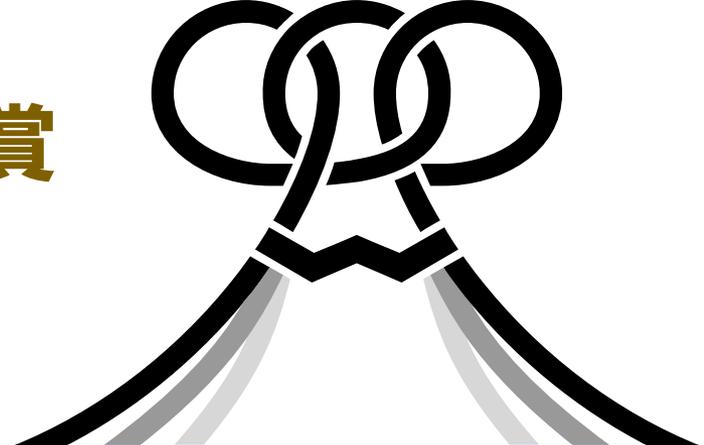


評価ポイント

- 24時間の制限をかけるだけでコンテストの在り方が変わって見えるということが、新しい取組や広がりがあり面白い。
- 物の見方として、ただ見るだけでなくファインダーを通して質が違ってきたものを審査するという点も含め面白い。

スポーツ文化ツーリズムアワード2021

【日本遺産ツーリズム賞】特別賞



(申請団体)

株式会社JTB沖縄

公共交通機関を活用した沖縄・日本遺産周遊体験ツーリズム構築事業



取組概要

日本遺産に登録されたことをきっかけに実施した本事業は、文化を観光で活用する方法を検討すると共に、沖縄県の課題である交通渋滞の解消に伴う公共交通機関の利用促進も目的とした。本事業では興味・関心を持ったコースを体験できるよう4つのモデルコースを構築した。また既存サービスに事前のクレジット決済機能などを実装した「おきなわ日本遺産アプリ」を開発し、指定日時で本島内の路線バスや沖縄都市モノレールを乗り放題でモデルルートを巡ることを可能とした。アプリでは文化財の魅力や歴史的背景を伝えると共に、関連情報の提供も行う。加えて、飲食店や各種文化・観光体験のクーポンを実装し、おきなわ日本遺産を楽しく巡る新たな体験ツーリズムの創出を図った。

評価ポイント

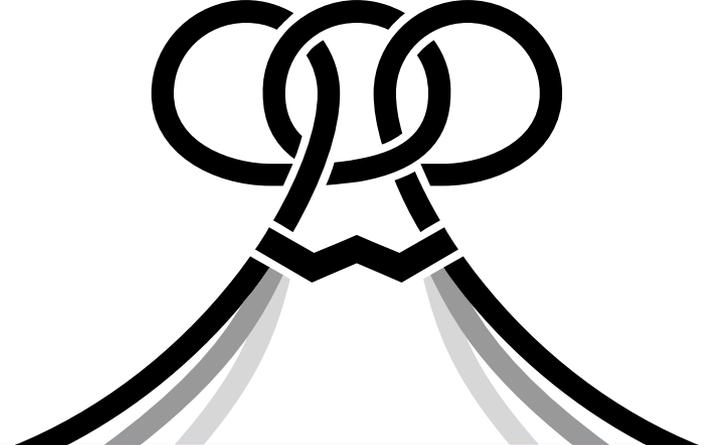
- 沖縄観光と一口に言っても皆様点々バラバラに行かれている。そこにテーマ性を持たせたということを評価。
- Maasに繋がるような取組という点でも「日本遺産」そのものよりも、それをどう周遊させるかという意味で面白い。

スポーツ文化ツーリズムアワード2021

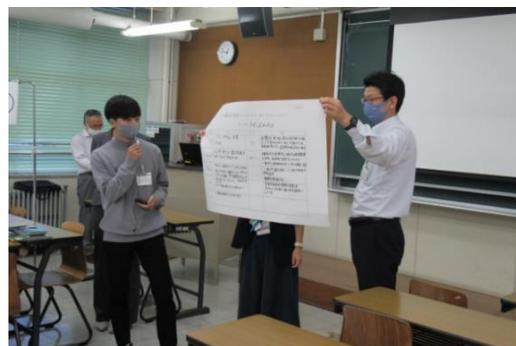
【食文化ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

裾野市スポーツツーリズム推進協議会



すその頂飯プロジェクト ~ 富士の麓で頂点を目指す! ~



取組概要

裾野市では富士山麓の自然環境や標高の高さ等の「地域資源」を活かしたスポーツ合宿誘致を推進しており、その中の“食事”に着目したプロジェクトである。

プロジェクトの1つ目は献立開発であり、管理栄養士や大学等と連携しすその頂飯21Recipe（朝、昼、夕×1週間分）を開発。2つ目はスポーツ栄養学講座の実施であり、本講座で得た知識をもとに参加した市内宿泊施設や飲食店が食事メニューを考案。この取組の結果として、食事面にも配慮した合宿地であることをPRするなどし、更なるスポーツ合宿誘致の推進を図っている。



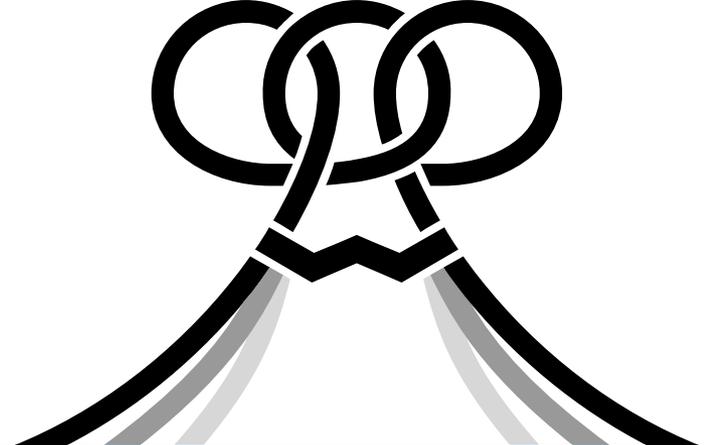
評価ポイント

- 「食文化」というと伝統や地産地消というイメージが前提だが、そういう意味では献立というところで面白い。
- 合宿等でのマーケットが期待できる。

スポーツ文化ツーリズムアワード2021 【新しい観光賞】特別賞

(申請団体)

株式会社エンバウンド



温泉むすめプロジェクト



取組概要

本事業はアニメや漫画、キャラクターや声優などを通じ、全国の温泉地や地方都市の魅力を国内外に発信するための「地域活性化プロジェクト」である。

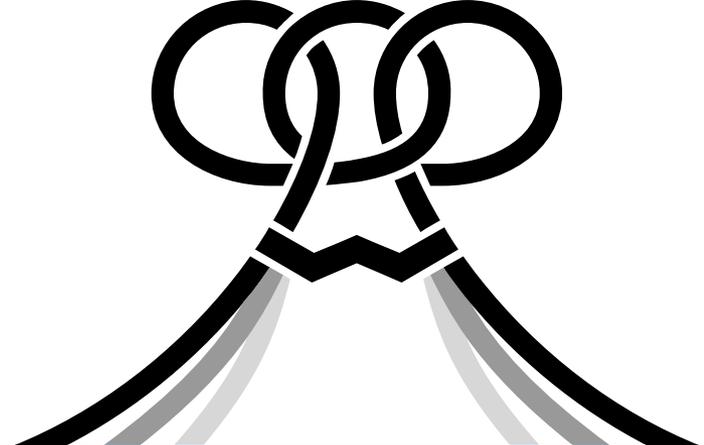
具体的には各温泉地をモチーフとしたキャラクターを制作し、アニメや漫画、ゲームなどの多面的なメディア展開を実施。各地でキャラクターを活用しながら、声優による現地ロケやイベントを温泉地で開催することで地域を“聖地化（観光名所化）”。観光客に向けて魅力を伝え、現地への来訪を促進することを目的としている。

2019年6月には活動実績を認められ【観光庁後援】プロジェクトとなった。加えて2020年には訪日誘客キャンペーン「Your Japan 2020」で日本を代表するコンテンツに選出。

評価ポイント

- 温泉とキャラクターを結び付けて、若い方たちの観光にかかる意欲や関心を沸き立たせるプログラム。
- 持続性と日本全国への展開があり、また一定の層に受けている点を評価。

スポーツ文化ツーリズムアワード2021 【新しい観光賞】特別賞



(申請団体)

公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー

ロゲイニング in なごや



取組概要

「ロゲイニング」は設定されたチェックポイントを時間内で回って得点を積み上げる、アウトドアナビゲーションスポーツである「ロゲイニング」を通じて、各地域への回遊性や魅力スポットの認知度を高める。またチェックポイントを観光スポットやなごやめしの店舗に設定することで、スポーツと観光の両面から誘客を図り、効果的な人流と消費を創出。

歴史や女子旅などの切り口で大会コンセプトを設定し老若男女がゲーム感覚で楽しむと共に、参加者自らがSNS等へ地域の情報を発信するよう促している。

様々なタイプの参加者が同じフィールドでスポーツに取り組むことができ、コロナ禍でも三密にならないイベントである。

評価ポイント

- 色々なところで展開できるような仕組みを提供している。
- 地域に根差して地域と一緒に取り組んでいる点を評価。